

第5回台湾建国烈士・鄭南榕記念 台湾問題講演会

歿後 20 年を迎え葉菊蘭夫人と令嬢の竹梅さんが臨席

戒厳令下の台湾において、公開の場で初めて台湾の独立建国を叫び、あるいは2・28事件の真相究明を求め、遂には一死をもって国民党の圧政に抗し、台湾に民主・自由の道を開いた台湾建国の鄭南榕烈士。

鄭烈士は1988年末、台湾独立建国聯盟主席だった許世楷氏（前駐日代表）の「台湾共和国憲法草案」を、自由時代社を主宰し自ら編集長をつとめる週刊誌「自由時代」に掲載。1989年の年が明け、検察は叛乱罪容疑で召喚しようとしたが鄭烈士は頑として応じず、台北市内の自社に籠城、完全な言論の自由を求めて抗議し続けた。「国民党が私を逮捕できるとすれば私の屍だけだ」と宣言、4月7日午前9時過ぎ、警官隊が包囲する中、ガソリンをかぶって覚悟の自決を遂げられた。享年42。

今年には自焚後20年という節目の年にあたり、葉菊蘭夫人（前行政院副院長、前高雄市長）と一人娘の竹梅さんも臨席。鄭烈士と親しかった本会の宗像隆幸会長と、日台安全保障問題の第一人者の川村純彦氏を講師に「台湾問題講演会」と銘打って開催いたします。奮ってご参加くださいますよう謹んでご案内申し上げます。



記

■日 時 2009年4月5日(日) 午後2時30分～7時30分(開場:2時)

■会 場 文京区民センター 3A

東京都文京区本郷 4-15-14 TEL: 03-3814-6731 (文京シビックセンターの斜向い)

【交通】都営地下鉄: 三田線・大江戸線「春日駅」徒歩1分

東京メトロ: 丸ノ内線・南北線「後樂園駅」徒歩3分

JR総武中央線「水道橋駅」徒歩10分

■講演1 宗像隆幸氏 (鄭南榕顕彰会会長、アジア安保フォーラム幹事)

演題「日台運命共同体の意味」

■講演2 川村純彦氏 (川村研究所代表、岡崎研究所副理事長)

演題「日台関係の戦略的な重要性」

■参加費 1,000円

■懇親会 同会場にて、午後5時30分～7時30分【懇親会費: 3,000円】

■お申込 4月4日(土) 申込フォーム、FAX、メールにて

申込フォーム: <http://www.ritouki.jp/cgi-bin/enquete/form0043.reg>

FAX: 03-5211-8810 E-mail: info@ritouki.jp

■主 催 鄭南榕顕彰会 (宗像隆幸会長 日台交流教育会、日本李登輝友の会、台湾研究フォーラム)

TEL: 03-5211-8838 FAX: 03-5211-8810

第5回「台湾建国烈士・鄭南榕記念 台湾問題講演会」申込書

*お申し込みいただいた個人情報は他の目的で使用しません。

ご氏名: _____ TEL: _____

懇親会: 出席 欠席 (いずれかに○をつけてください)